

エサ箱や水飲み場に野鳥を近づけないようにしましょう。

例えば・・・

- エサ箱や水飲み場は飼育小屋内又は室内に置く。
- エサを飼育小屋の外にこぼさない。
- エサや水はこまめに取り替える。
- 水は水道水を与えるようにし、野鳥が飛来する河川や池などの水は与えない。
- 野鳥との接触を避けましょう。
- 飼養鳥と野鳥との接触を避けるため、庭や池での放し飼いは自粛し、当分の間、飼育小屋内で飼育しましょう。また、野鳥の侵入を防ぐため、飼育小屋の金網などの隙間、破れをネット等で塞ぎましょう。
- こまめに清掃と消毒を行いましょう。
- 鳥を飼っている場所はこまめに掃除し、消毒を行いましょう。
- 飼育器具（給水容器、エサ箱等）も定期的に消毒を行いましょう。

消毒の方法

鳥インフルエンザウイルスは薬局等で市販されている消毒薬で容易に死滅します。

よく使用されている消毒液

- 消毒薬：塩化ベンザルコニウム（一般に「逆性石鹼」と呼ばれています。）
- 購入先：一般の薬局等で販売されています。
- 希釈濃度：200～500倍（200倍・・・水20リットルに消毒薬100ccを加える。）
- 方法：噴霧器、ジョウロ等で、鳥小屋全体にかけてください。
※消毒は天候の良い日を選び、定期的の実施するよう心がけてください。
※使用に当たっては消毒の際は手袋等を使用し、使用説明書を必ず確認してください。
小屋周辺の地面や清掃した糞の消毒には、消石灰の散布が有効です。
- 消石灰：畑の土壌改良に使ったり、グラウンドに白線を引くのに用いられます。
- 購入先：農協、農業資材販売店、ホームセンターなどで販売されています。
- 方法：小屋周辺の地面にまいたり、糞にふりかけてください。
飼育小屋へのウイルスの侵入を防ぎましょう。
飼育小屋内は専用の靴（長靴など）に履き替え、飼育小屋の出入り口には、消毒薬を入れた容器を設置し、ブラシを併用して、靴底などをしっかり消毒しましょう。

飼養鳥類からの感染を予防しましょう。

- 口移しでエサを与えるのはやめましょう。
- 飼養鳥の世話をした後は必ず手を洗い、うがいをしましょう。